



▲ スタートした田尻稻次郎企画展の会場

日本の財政学を築いた薩摩藩士

1880(明治13)年には、専修学校(現・専修大学)を、米留学時代の仲間と共に創立。専修学校のほか現在の東京大

薩摩藩士の家に生まれた田尻は、明治から大正にかけて、大蔵官僚として、また、経済・財政学者として輝かしい業績を残した。

田尻稻次郎 業績 伝える企画展始まる

本学創立者の一人

専修大学創立者の一人、田尻稻次郎(1850~1923)を紹介する企画展「日本の財政学を築いた薩摩藩士」専修大学創立者・田尻稻次郎の生涯」が鹿児島市の鹿児島県歴史資料センター黎明館で始まった。

学、一橋大学、早稲田大学、学習院大学などでも経済学や財政学の講義を行い、後に大蔵官僚・経済学者として活躍する人物を多数輩出した。

本展示では、専修大学と鹿児島県歴史資料センター黎明館による新たな「知の発信」として、鹿児島が生んだ偉人・田尻稻次郎の生涯と業績を紹介するとともに、日本近代において財政学が国家形成に果たした役割を紹介する。

12月3日には記念講演会(原口泉・志学館大学教授が講演)と専修大学創立130周年記念映画『学校をつくろう』の上映会が開かれ、多くの市民が訪れた。

同18日にも同映画上映会とシンポジウムが開催される。問い合わせは専修大学史資料課(☎03・3265・5879)へ。

三ノ専修

専修大学ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

日本語表記の変遷を図書館蔵書でたどる



▲ サテライトキャンパスでのギャラリートーク

漢字伝来から近代表記が登場する明治時代まで。日本語表記の変遷を、専修大学図書館の蔵書などでたどる、図書館特別展「和(やまと)し」のわしー日本の文字と書物の歴史」が、専修大学サテライトキャンパス(11月12日~同23日)と神田キャンパス(11月26日~12月3日)で開催された。期間中2会場合わせて約1300人が訪れた。

展示は密教の経典『金剛頂一切如来真実観大乗現證大教王経』の写本(国立国語研究所蔵、神田キャンパスのみ展示)、鎌倉時代初期に書写された『古今和歌集』(重要文化財)や仮名文『源氏物語』(江戸初期)など計65点。初公開となる展示もあり、訪れた人々は貴重な書物に見入っていた。



▲ 日高義博理事長・学長(中央)らがテープカット



▲ 書家としても活躍する仲川教授が講演

また、講演会も催され、書家としても活躍する仲川恭司文学部教授が「漢字の伝来から日本の文字文化へ」(屋名池誠・慶應義塾大学教授が「文字はどこに向いているか」、高田智和・国立国語研究



▲ 作品に見入る学生たち
神田キャンパスで

所准教授が「漢文訓詁が日本語に与えた影響」をそれぞれ講演した。

主なニュース

- 大学院経済学研究科政策科学シンポジウム / ドイツから講師招き、脱原発シンポジウム……………2
- 「東日本大震災と復興」 大学院公開講座PART2……………3
- 教育研究振興協力資金募金寄付者芳名(2011年7月1日~10月31日)……………4
- 「石巻専修大学」石巻会計研究会が全国大学対抗簿記団体戦3級で優勝……………8
- 寄稿「津波体験を自動車改良に」石巻専修大学理工学部・山本憲一教授……………9



上映情報はホームページをご覧ください

第39回専フィル定期演奏会



チャイコフスキーの交響曲第4番など披露

専修大学フィルハーモニー管弦楽団の第39回定期演奏会が12月3日、東京都多摩市「パルテノン多摩」で開催された二写真。プログラムは、ヴェルディ『運命の力』序曲に続きサン＝サーンスのバイオリン協奏曲第3番(ソリスト:松田理奈さん)、チャイコフスキーの交響曲第4番。指揮の三河正典氏は、楽曲の特性を生かしたダイナミズムあふれる構築をすることともに、弦の響板や管の響きの鳴り止まんとする余韻を丁寧に紡ぎ、行き届いた指導が感じられた。900人を超える観客は、一歩前に進んだ「専フィル」を感じたことだろう。(S・K)



学生400人が参加

生田キャンパスで初の避難訓練

生田キャンパスで12月6日、首都直下型地震を想定し避難訓練を行った。学生約400人が参加した。正午過ぎ、授業中の10号館の3教室に、訓練用の緊急地震速報が流れると学生たちは頭にかばんを乗せ、机の下に入るなどして落下物を避けたあと、職員誘導で外に避難した一写真。

特集・課題解決型インターンシップ 6・7面